

公民館へ行こう！



川面公民館 (川面町)

藤井正直 館長

川面町は、春には高梁川西岸に桜が咲き誇ります。川沿いの桜のそばを特急「やくも」号が走る風景は見事で、絶妙な景色の広がりを見せてくれます。

川面公民館はさまざまな催しや講座を開催しており、町民の集いの場として親しまれています。また、川面小学校では「わら細工」の正月飾りを指導しています。子どもたちが喜び姿を見て、「材料のわらを作る真夏の苦労も吹っ飛びました」との声も出ています。他にも、児童と触れ合いながら楽しく学習補助やグラウンドゴルフなどの活動を行っています。



わら細工の指導の様子

「歩け歩け大会」

ふれあいと健康づくりを目的として、毎年実施している「歩け歩け大会」。令和4年度は、旧吹屋小学校の見学・吹屋ふるさと村周辺を歩き、郷土の素晴らしさや魅力を再認識しました。



歩け歩け大会の様子

☎川面公民館 ☎ 26-0001



巨瀬公民館 (巨瀬町)

野口史郎 館長

巨瀬町は、ボランティア活動が盛んな町です。「子どもは地域の宝」を合言葉に、子どもと地域の人たちとの交流事業に力を入れています。長岡藩の「米百俵」の精神で、子どもたちが立派に成長することへの期待と、1人でも多くの子どもたちがふるさとへ帰ってくることを期待して活動しています。



わくわく科学ランドの様子

「地域主体の卒業式」

コロナ禍により、巨瀬小学校では地元住民や来賓参加による卒業式ができなくなりました。そのため3年前から、卒業式の後に卒業生のための思い出づくりと地元住民からのお祝い(三渓賞)を贈るため地域主体の卒業式が始まりました。

今年は巨瀬幼稚園が休園となり、地域主体の卒業式の名称を「夢と希望を大空に会」と変え、約100人が集まり、風船に将来の夢と希望を書いた短冊を付けて、大空に舞い上げました。



イベントの様子

☎巨瀬公民館 ☎ 25-0001

市長室からこんにちは

多くの国民の皆さんに笑顔と勇気を与えてくれたワールドベースボールクラシック(WBC)での日本チームの優勝から2カ月が経ちました。監督の栗山英樹さんは、代表チームを率いるに当たり、その心境を1文字に表されました。「尽」です。「自分ができぬことをやり尽くす」という気持ちを込めたこの言葉を選んだ理由は、山田方谷が儒学者・佐藤一斎から贈られた「盡己」(己を尽くす)の言葉と、方谷の生きざまに強くひかれたからだそうです。そこで、高梁市から応援の気持ちを込めて「盡己」の毛筆の書を、野球解説者で市政アドバイザーの平松政次さんを通じて栗山監督にお贈りしたところ、大会が閉幕し帰国した監督からお礼の電話をいただき、また、直筆のお手紙もいただきました。手紙の内容は本当に丁寧で、監督の人柄がよく分かるものでした。いつか高梁にお越しいただきたいと思っています。

近藤隆則